

2019.01.27 事前キャンプを知ろう | ホストのオススメブリティッシュポイント

横浜で英国を感じるお散歩コースガイド（関内～元町編）



英国代表チーム事前キャンプ地でもある横浜市は、歴史を振り返ると、幕末期の開港前後から英国との関係がありました。

これを機に、横浜の街をお散歩しながら、英国と日本の交流歴史を知ってみるのはいかがでしょうか。

そこで今回は、GOGB コラム編集部がオススメする、横浜の中でも関内から元町をルートとした、横浜で英国を感じるお散歩コースガイドをご紹介します。

日本大通り



まずは、関内エリアにある日本大通りからスタートです。この付近は、1866年の大火で日本人の居住地だけでなく外国人の居留地も大きな被害を受けたことから、近代的な道路の整備、防火対策などが急がれていました。そこで、横浜公園も手がける英国の設計士、リチャード・ブラントンの設計により、日本初の西洋式道路が建設されたのです。

通りの一角にはブラントンの胸像があります。



また、通りに埋め込まれたタイルは横浜の開港の歴史を伺い知ることができます。

神奈川県庁や横浜開港資料館、横浜地方・簡易裁判所などの建物が並び横浜港へと続くこの通りは、秋はイチョウ並木が美しく、冬はイルミネーションに彩られ、季節によって異なる景観が楽しめます。道幅も広くゆとりがあり、自分が英国映画のワンシーンにいるような気分にも浸ることができますよ。



【日本大通り】

住所：神奈川県横浜市日本大通

最寄駅：みなとみらい線日本大通り駅徒歩 1 分・JR 関内駅徒歩 15 分

横浜開港資料館



横浜開港資料館は新館、旧館の二つの建物からなり、海岸通りに面した新館と、中庭を挟んで小ぶりな旧館が建っています。旧館は元々英国総領事館として建設されました。英国工部省の設計、資材は全て英国から運んだこだわりの建物で、外観、内観から英国の雰囲気を感じることができます。

館内は、港町として発展した横浜港の歴史が、写真や当時の新聞、模型など用いて分かりやすく展示されていますので、お子様でも歴史を楽しく学ぶことができます。

中庭には開港資料館のシンボル、たまくすの木が植えられています。



江戸時代からこの場所に根付き、開港の歴史を見届けてきたのだなあとと思うと、立ちそびえる木の貫禄を感じます。

【横浜開港資料館】

神奈川県横浜市中区日本大通 3

TEL : 045 (201) 2100

開館時間 : 午前 9 時 30 分～午後 5 時まで

休館日 : 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始、ほか

最寄駅 : みなとみらい線「日本大通り」駅 3 番出口から徒歩 2 分・JR 関内駅から徒歩 15 分

URL : <http://www.kaikou.city.yokohama.jp/index.htm>

カフェ：オージャルダンドウペリー



横浜開港資料館の一角にあるカフェ「オージャルダンドウペリー」は、元は旧英国総領事館の守備室として使われていました。カフェに面している「横浜開港広場」は日米和親条約が調印された場所でもあり、港町の歴史を感じながらのんびりお茶休憩するのも良いですね。



【オージャルダンドウペリー】

神奈川県横浜市中区日本大通 3 横浜開港資料館

TEL : 045-662-8345

営業時間【火～金】 8:00～17:00 【土・日・祝】 8:00～18:00

定休日：月、年末年始、その他

シルクセンター（シルク博物館）



1859年の開港以降、横浜港には多くの外国人商社が社屋を構えました。

シルクセンターは、元は開港当初に生糸貿易などを行なった英国の大きな総合商社ジャーディン・マゼソン商会横浜支店（英国一番地）があった場所です。





シルクセンター内には「シルク博物館」があります。



シルク博物館は横浜開港百年記念事業として 1959 年に開設されました。横浜港の発展に貢献したシルクの歴史だけでなく、ワークショップや、ミュージアムショップでシルク製品を探すなど、見て触れて楽しめます。



横浜港を一望できる見晴らしの良さも、お散歩のオススメポイントです。

【シルク博物館】

神奈川県横浜市中区山下町 1 番地 シルクセンター2 階

TEL : 045-641-0841

開館時間 : 9:30~17:00 (入館 : 16:30 まで)

最寄駅 : みなとみらい線「日本大通り」駅 3 番出口から徒歩 3 分・JR 関内駅から徒歩 15 分

URL: <http://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

日本郵船氷川丸 (山下公園)



シルクセンターから横浜港沿いを歩いていくと山下公園があります。ここは関東大震災後のがれきを埋め立てて作った公園です。

その山下公園沿いの横浜港に浮かぶ氷川丸は、かつては『北太平洋の女王』と呼ばれた貨客船で、山下公園前に係留されています。

1930(昭和 5)年、アメリカ・シアトルとの航路用に建造された氷川丸は、太平洋戦争前には英国出身の喜劇王チャップリンや、秩父宮ご夫妻が英国国王ジョージ六世の戴冠式から帰国される際に乗船されるなど、大活躍しました。

役目を終えた氷川丸は、今でも港町横浜で国の重要文化財として、当時の面影を濃く残しています。船内を見学しながら、当時の華やかな船旅に想いを馳せて港を見渡すのも感慨深いですね。

【日本郵船氷川丸】

神奈川県横浜市中区山下町山下公園地先

TEL : 045-641-4362

最寄駅：みなとみらい線「元町・中華街駅」4番出口徒歩3分 ・JR 根岸線「石川町駅」または「関内駅」徒歩15分

URL : <https://hikawamaru.nyk.com/>

横浜イギリス館



山下公園を過ぎ、元町方面に進むと港の見える丘公園に隣接する横浜イギリス館があります。英国総領事が当時家族と住んでいた英国総領事公邸です。



玄関脇の王冠入り銘板や正面脇の銅板が、この建物が由緒正しいものであることを証明しています。また正門左手の小さな門は使用人たちの出入り口であり、英国の階級社会の歴史を垣間見することもできます。館内に入ると、白垂の外装と調度品や内装から当時の暮らしを伺うことができ、当時の英国にタイムスリップしたような気分になります。

【横浜イギリス館】

神奈川県横浜市中区山手町 115-3

TEL : 045-623-7812

最寄駅：みなとみらい線 元町・中華街駅徒歩 8 分

URL : <http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/yamate-seiyokan/british-house/>

横浜山手聖公会



横浜山手聖公会は、英国国教会の流れをくむ日本聖公会の教会堂です。外形は大谷石を使い、中世英国のノルマン様式の聖堂をもつ、横浜山手地区のランドマーク的存在です。

実は現在の建物は三代目。現在の場所に建てられたのは二代目でしたが、関東大震災で崩壊。その後仮設聖堂を経て現在の建物になりました。この辺りでは一際大きく重厚感のあるこの建物は、当時から人々の信仰を支え続けた歴史が感じられます。

【横浜山手聖公会】

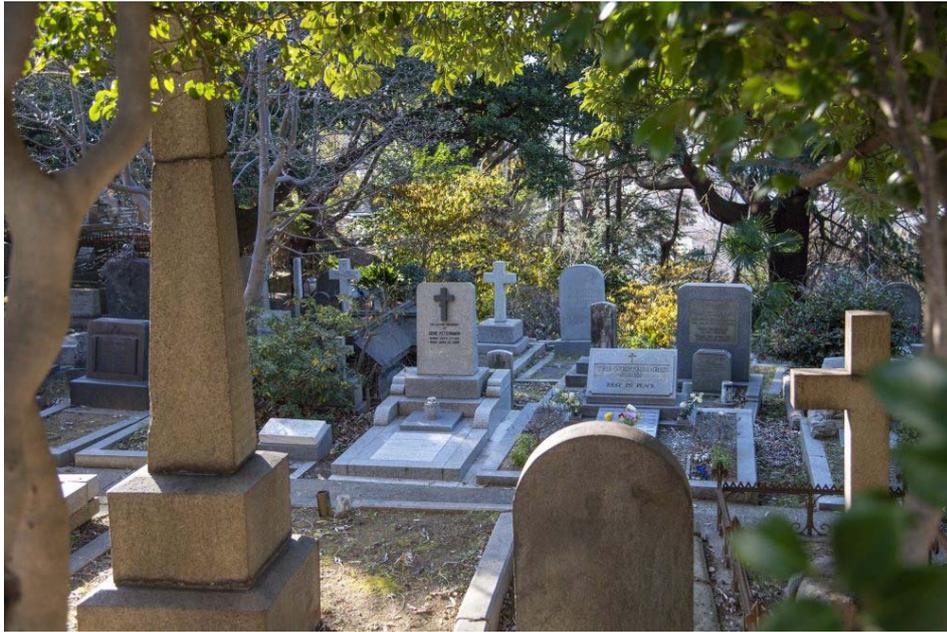
神奈川県横浜市中区山手町 235

TEL : 045-264-8156

最寄駅 : みなとみらい線 元町・中華街駅徒歩 7 分

URL : <http://anglican.jp/app-def/S-102/yamate/>

横浜外国人墓地



ここにはたくさんの日本で亡くなった外国人が埋葬されていますが、中には第一次世界大戦時に日本から戦地に行き亡くなった英国人など、多くの英国人が埋葬されています。また、墓地に隣接して横浜外国人墓地資料館があります。



幕末からの歴史はもちろん、明治時代に、日本の近代化に貢献してきた英国人の技術師や、著名人の墓所であることも、解説と写真で知ることができますので、歴史好きな方には特にオススメなスポットです。



【横浜外国人墓地・横浜外国人墓地資料館】

神奈川県横浜市中区山手町9-6

開館時間：10時～17時

休館日：月曜日

最寄駅：みなとみらい線 元町・中華街駅徒歩3分

URL：<http://www.yfgc-japan.com/index.html>

横浜元町ショッピングストリート



横浜外国人墓地から元町・中華街駅方面に坂を下ると、横浜元町ショッピングストリートが広がります。横浜開港当時、山下町の外国人居留地と、山手地区の居留地を結ぶ場所に外国人向けの店が集まったことで発展した商店街です。当時としては珍しく、店が海外の名店から直輸入できるように各国の商店街と姉妹提携を結びました。

英国ロンドンのストランドストリートとは他の5つの商店街と共に昭和42年に姉妹提携を結び、街を発展させてきました。上質な陶器やアンティーク輸入雑貨店なども並び、見ているだけでも買い物が楽しめます。通り各所にベンチが設けられているので、街をのんびり見渡しながらか休憩するのも良いですね。

【横浜元町ショッピングストリート】

みなとみらい線 元町・中華街駅徒歩0分

ウチキパン



最後にご紹介するのは、元町商店街の中にある明治21年から愛される老舗ベーカリー「ウチキパン」。中でも創業以来100年以上作り続けられる英国スタイルの山型食パン「イングランド」が有名。



他にもフランスパンやドーナツ、あんぱんなど、パンの種類が豊富ですので、翌日の朝食用におみやげパンはいかがでしょう。

【ウチキパン】

横浜市中区元町 1-50

TEL : 045-641-1161

最寄駅：みなとみらい線 元町・中華街駅徒歩 2 分

定休日：毎週月曜日

横浜で英国を感じるお散歩コースガイドはいかがでしたでしょうか。

英国代表チーム事前キャンプ地となる横浜市が、幕末時代の横浜港開港から、明治時代の近代化まで、歴史の至るところで英国との交流があることを散策を通して知ることができ、より英国が身近に感じられました。歴史を知るだけでなく、横浜の異国情緒溢れる景色も楽しめますので、ぜひこの機会に楽しんでみてはいかがでしょうか。

取材：GOGB コラム担当ライター：平尾美絵

撮影：GOGB コラム担当カメラマン：末吉理

2019.04.09 事前キャンプを知ろう | 事前キャンプの現場から

国際レベルのプールの秘密に迫る！横浜国際プールってどんなところ？



横浜市にある横浜国際プールは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック英国代表チームの事前キャンプ施設です。

国際公認プールとしても知られており、イアン・ソープや北島康介といったトップスイマーが参加したパンパシフィック水泳選手権大会をはじめ、数々の国際大会を開催してきました。



最寄りの「北山田」駅から横浜国際プールへ続く大階段には、「GO GB 2020」の階段メッセージと
のぼり旗が立てられて、階段を上るにつれ、英国代表チーム歓迎ムードが盛り上がってくる

今回は、横浜国際プール指定管理者であるコナミスポーツ株式会社のマネージャー 阿部弘美さん
に、施設の特長や英国代表チームの受け入れ体制についてお話を伺いました。

地域に愛される施設として、国際公認プールとして

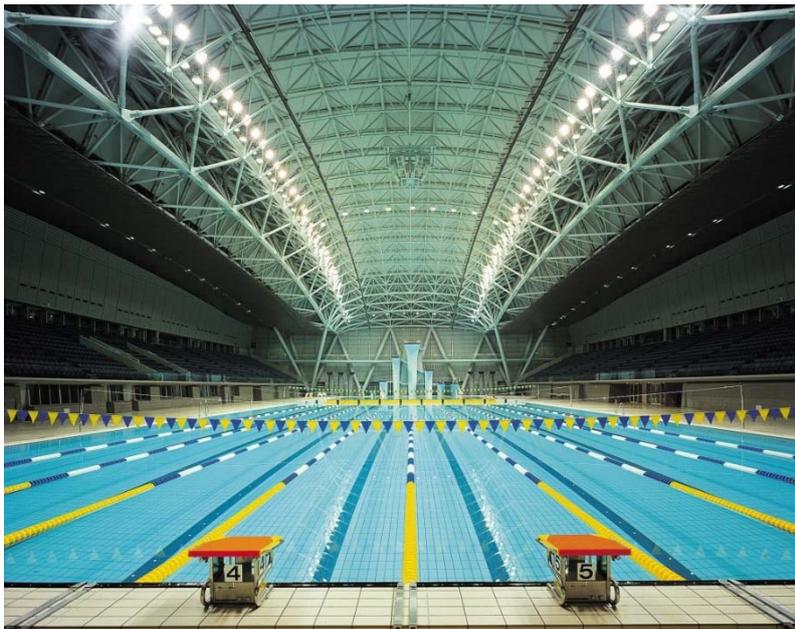


阿部さん：

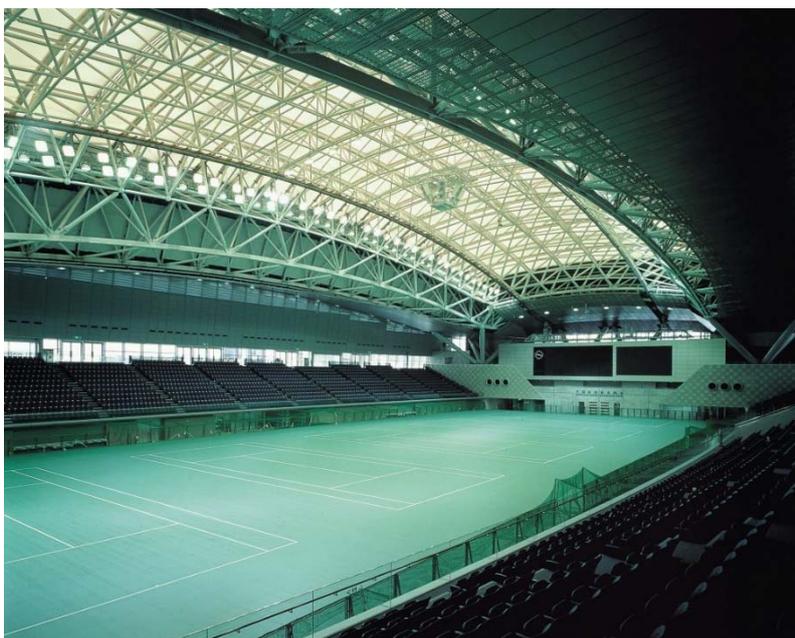
横浜国際プールは、市民の皆さまが利用されるスポーツ施設であり、国際公認プールとして国内外の大規模な大会を開催する総合競技場でもあります。私はマネージャーとして約 100 人のスタッフと共に、ふだんのお客さまの対応と安全面の管理、大規模な大会開催時の準備と運営全般を担当しています。

定期的に通ってくださる顔なじみの方も多く、ふだんから皆さまにお声がけしながら体調面の配慮やコミュニケーションを心がけるようにしています。

夏季はメインプール、冬季はスポーツフロア



両サイドに約 4,000 席の観客席を擁する国際公認の 50m プールのメインプール。



メインプールは、冬季にはスポーツフロアに様変わりする。地元横浜市をホームに活躍するプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」のホームアリーナとしても有名。

阿部さん：

横浜国際プールのメインアリーナは、夏季5月～9月はメインプールとして、冬季11月～3月はスポーツフロアとして使用する、非常にめずらしい施設です。プールからフロアへ転換するには、時間をかけてゆっくりとプールの水を抜く必要があるため、約1か月の転換期間を設けています。



通年利用できるサブプールは国内最大級の50m公認プール。

国際公認プールとしての大会開催を、見えない部分で支える専門スタッフの存在

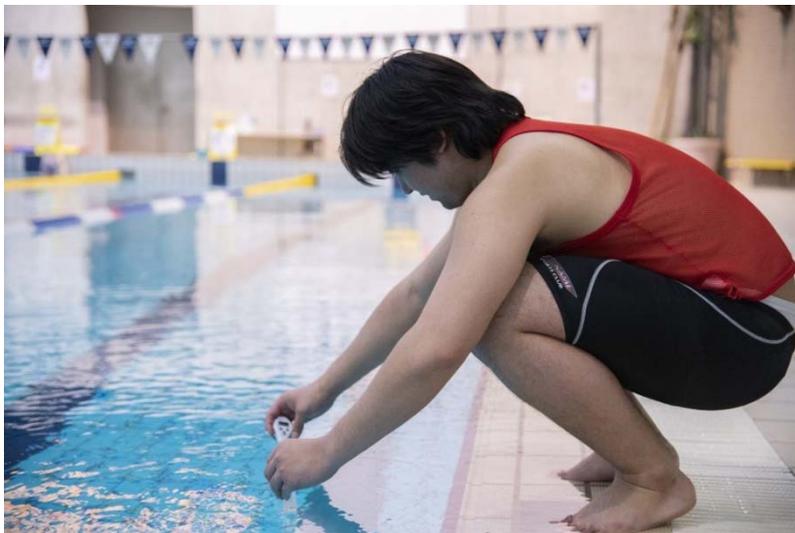
――国際公認プールとして、どのような点に注意を払っていらっしゃいますか？

阿部さん：

“プールの水は生きもの”です。毎日毎時間、水のコンディションは変わります。国際公認プールとしては当然ですが、コンディション維持はもちろん水が抜けたり機械の不具合があったりしてはなりません。専門スタッフ20名が、プールの室温・水質・水温・水深などの管理を常時行っています。実は、プールの水温を上げるのは大変難しいことなので、夜間も水温チェックが欠かせません。また室温と水温の差が激しいほど寒暖差を感じやすいので、空調管理も大切な仕事のひとつです。



プールの管理室では、専門スタッフが 24 時間体制で勤務。



安全な水質を維持するために、スタッフが毎時間水質検査を行う。

スタッフ全員で、安全・安心な競技場の運営、維持に努めています。

英国代表チームを迎え入れるためにさまざまな準備を行なっています。



目の前に緑の木々が見えるトレーニングルーム。初心者から上級者までが利用できる。

――英国代表チームを受け入れるにあたり、施設面では今後どんな準備を予定していますか？

阿部さん：

英国チームや一流アスリートならではの準備も必要となるので、英国チームとともに調整を進めています。2018年度には、競泳用のスタート台やコースロープも更新しました。今後、一般利用者の皆様にも、より充実した設備となる予定です。

今年1月には、横浜国際プール・都筑警察署・都筑区役所・都筑消防団・都筑消防署などの関係機関・約150名が参加し、横浜国際プールにおけるテロ災害を想定した訓練を行いました。万全な安全対策を施すために、関連機関で協力しています。

また、エントランスホールでは、英国についてのパネル展示と、東京2020オリンピック・パラリンピックのカウントダウン表示で、英国代表チームお迎えの雰囲気盛り上げています。



英国代表チームを知ってもらうためのパネルを展示。

「つづきジュニアタイムズ」でも、横浜国際プールで開催されたジャパンパラ水泳競技大会の様子を取材していただきました。



都筑区のジュニア記者による新聞

「つづきジュニアタイムズ (TJ) 10号 <http://junior.minicity-plus.jp/category/tjtimes/>」でも、GO GB 特集!

英国代表チームへのメッセージ



いつも明るい笑顔が素敵なスタッフの皆さん。

阿部さん:

英国代表チームの皆さんが、日本の環境に一日も早く馴染んで調整できるように、我々スタッフも精一杯お役に立ちたいと考えています。日本らしいきめ細やかなおもてなしの精神でお迎えしたいですね。英国代表チームのアテンドに備えて、今後英語のレッスンも考えています。

事前キャンプは、横浜や横浜国際プールの魅力を知ってもらうよい機会です。この得難い体験を、横浜市民の皆さまと一緒に共有していきたいと思います。

GOGB コラム編集部より

横浜国際プールにおける、英国代表チームの東京オリンピック事前キャンプ受け入れ期間は、2020年7月上旬の予定です。また、2019年7月には、英国水泳代表チームの事前キャンプの実施が決まりました。いよいよ、横浜国際プールでも初めて英国代表チームを受け入れることとなります。

英国代表チームが快適にトレーニングできるように、横浜市民としても「GO GB 2020」を合い言葉に、精一杯応援したいですね。

取材：GOGB コラム担当ライター：西川公子

撮影：GOGB コラム担当カメラマン：末吉理

2019.09.19 英国代表チームを応援しよう

英国代表選手 | Team GB・ParalympicsGB | 事前キャンプの現場から

「横浜国際プール」で開催！ジャパンパラ水泳競技大会から学ぶ、パラ水泳競技の魅力



東京 2020 大会・英国代表チームの事前キャンプが予定されている横浜国際プールにおいて、9月21日（土）から23日（月・祝）まで『天皇陛下御即位記念 2019 ジャパンパラ水泳競技大会』が開催されます。昨年の大会には海外8カ国から41名のトップパラスイマーが参加しており、国際的な大会としての注目度もアップしています。そこで今回は、来年に迫った事前キャンプ、そしてパラリンピック本番を前に開催されるこの大会の見どころや、さらには東京2020大会への出場が予想されるイギリスの有力スイマーを紹介していきます。

ジャパンパラ水泳競技大会を楽しむための基礎知識

『ジャパンパラ水泳競技大会』は、パラリンピックや世界選手権をめざすトップレベルの選手のための大会として1991年から開催されている、国内最高峰のパラ水泳大会です。大会記録が国際公式記録として認定される、日本では数少ない国際公認大会でもあり、2018年大会にはイギリス、アメリカ、カナダ、メキシコ、コロンビア、スペイン、オーストラリア、ニュージーランドの8カ国から41名の選手が参加。国際大会としての色合いを濃くしています。



ジャパンパラ水泳競技大会 2018 で英国代表チームが来日し、横浜市の子供たちと交流をしました。

昨年のジャパンパラの様子はコチラから

https://gogb2020.jp/columns/junior_reports_201810/

競技は基本的に国際水泳連盟のルールに則っており、使用するプールの規定や競技種目（自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ）も同じですが、障害の種別や程度ごとに「クラス分け」が行われ、男女別に同程度の競技能力を持った選手同士で順位が競われています。

障害種別とそのレベルは数字で分けられ、1 から 10 までが身体障害、11 から 13 までが視覚障害、14 が知的障害、15 が聴覚障害となっており（その下にも比較的軽い障害のクラスが設置されている）、数字は障害の程度が重いクラスから軽いクラスへと増えていきます。また競技種目は自由形・背泳ぎ・バタフライを S、平泳ぎを SB、個人メドレーを SM と表記することから、例えば「SB1」は「身体障害の程度が最も重い選手による平泳ぎ」のクラスを示していることとなります。

さらに、可能な限り一般の水泳競技規則に則った競技運営が行われるものの、障害によりやむを得ない場合には特別なルールも用意されています。例えば飛び込みスタートが難しい選手には、水中からのスタートが認められていたり、プールの壁を視認できない視覚障害の選手には、コーチがゴールやターンの直前に棒で選手の身体をタッチすることで壁が近づいていることを選手に伝えるようにしたりというものです。

これらのクラス分けやルールは基本的に東京 2020 パラリンピックの水泳競技でも共通するもの。本番前の基礎知識を得るうえでも、ジャパンパラ水泳競技大会を会場で体感するのは意義深いことといえます。

障害と向き合い勝ち得た、個性的な泳法を見る魅力



クラス分けやルールのみならず、ジャパンパラ水泳競技大会を現地で観戦することで感じ取れる、パラ水泳競技の魅力もあります。それは障害を抱えながらも、0コンマ1秒を争う選手たちの努力により勝ち得た工夫や技術を発見することです。

障害の種別や程度は選手それぞれで異なるため、最適な泳ぎ方も選手により変わります。例えば、片腕や片脚が欠損している選手や片半身がまひで動かない選手にとっては、左右の推進力や浮力がまったく違うため、まっすぐに泳ぐこと自体が困難なことです。それを一般的な泳法を参考に、自分の身体に合っていて、しかも一番速く泳げる方法をトライ&エラーを重ねながら見つけていくのです。

ですから同じ競技でも、その泳法は非常に個性的。そこに至るまでの練習での苦労や、なぜその泳法にたどり着いたかなどに思いを巡らせることで、純粋なスポーツとしてのパラ水泳競技の魅力に深みが増すことでしょう。タイムの裏側にある、パラスイマーたちの“ドラマ”を感じ取ってください。

| ベサニー・ファース (Bethany Firth)



リオデジャネイロパラリンピックで金メダル3個（100m 背泳ぎ S14、200m 自由形 S14、200m 個人メドレーSM14）、銀メダル1個（100m 平泳ぎ S B14）を獲得した、英国を代表する女性パラスイマー。中でも 100m 背泳ぎ S14 では世界新記録をマークし、圧倒的な強さを見せました。

| ステファニー・ミルワード (Stephanie Millward)



1981 年生まれのベテラン選手ながら、リオデジャネイロパラリンピックでは7種目に参加し、金メダル2個（100m 背泳ぎ S8、4×100m メドレーリレー）、銀メダル1個（200m 個人メドレー SM8）、銅メダル2個（100m 自由形 S8、400m 自由形 S8）を獲得した、英国パラ水泳界のレジェンドともいえる女性スイマーです。

| トニー・ショー (Toni Shaw)



2003 年生まれの 16 歳という若さながら、2018 年のヨーロッパ選手権 400m 自由形 S9 で優勝し、同種目における当時の世界ランキング 1 位を獲得した成長株の女性スイマー。昨年のジャパンパラ水泳競技大会で来日し、400m 自由形 S9 では 2 位に 7 秒以上の差をつける圧倒的な強さで優勝しています。

| リース・ダン (Reece Dunn)



今年に入り 2 つの世界新記録 (100m 自由形 S14、200m 自由形 S14) をマークした、現在上り調子の 24 歳の男子スイマー。東京 2020 大会に向けて彼がどんな調整をしてくるのか、注目が集まっています。

これからレベルの高い代表争いを控えているので、この選手たちが東京 2020 大会に出場するかはもちろん未確定ですが、もし選ばれれば金メダル争いに食い込んでくる実力者ばかりです。ジャパンパラ水泳競技大会をきっかけにパラ水泳競技に興味を持ち、本番となる 2020 年東京での英国選手たちの活躍を応援してみたいはいかがでしょうか。

GOGB コラムライター：杉崎孝志

2019.10.25 英国代表チームを応援しよう | ホストのオススメブリティッシュポイント

英国人の社交の場「ブリティッシュパブ」を横浜で堪能しよう



東京 2020 オリンピック・パラリンピックの英国代表チームのホストタウンとなっている横浜市。横浜市は、幕末の横浜港開港によっていち早く英国文化を取り入れた土地でもあり、現在も街の至るところに英国の文化が根付いています。

今回は、英国をより深く知るきっかけとして、英国独自の文化のひとつである「パブ」についてご紹介します。

横浜でブリティッシュパブを構えて 15 年。「フルモンティ」を経営するプール・クライヴさんと道心華衣さんに、英国のパブ文化や本場のブリティッシュパブの楽しみ方、GO GB 2020 に向けた思いを伺いました。

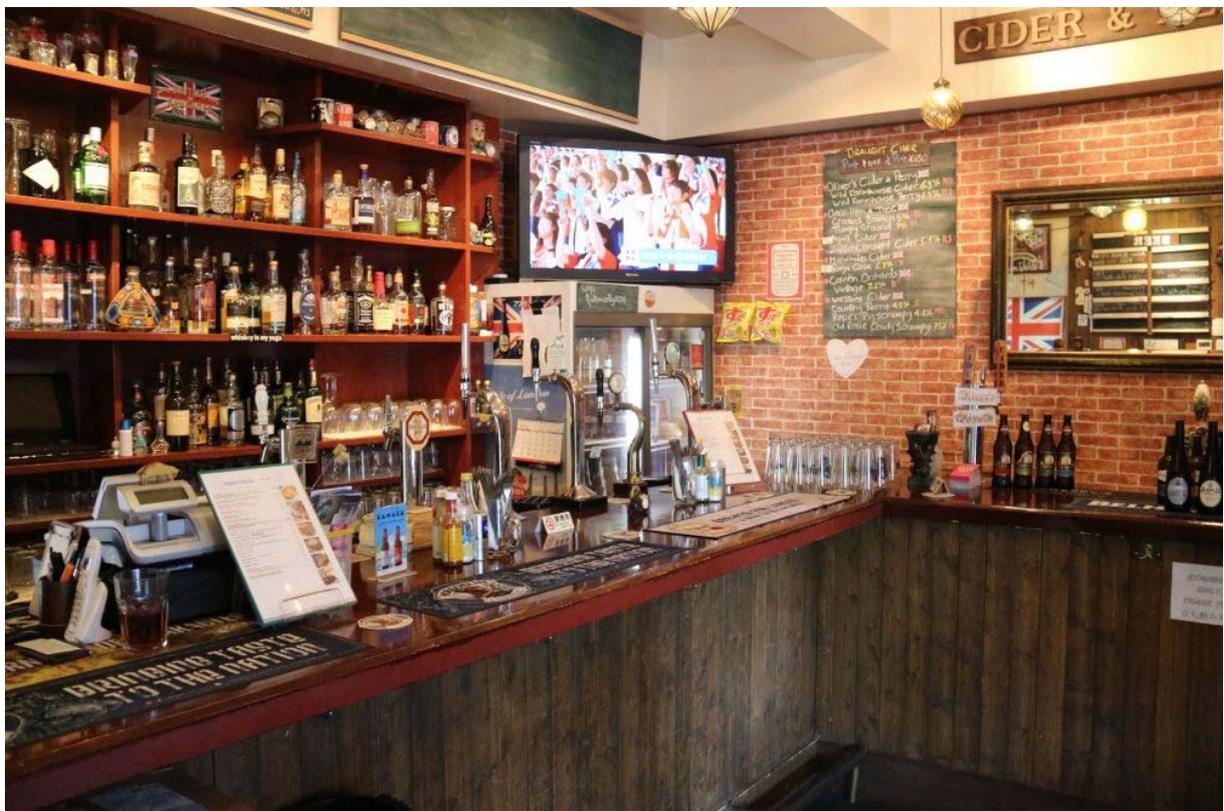
この機会に、本場のブリティッシュパブを体感し、英国文化に触れてみるのはいかがでしょうか？

英国人になくてはならない社交の場、パブ

パブとは、英国で発達した大衆酒場のこと。英国を語る上でなくてはならない存在です。英国映画でもよくパブのシーンが登場し、パブの風景が英国人の日常に溶け込んでいる状況が伺えますが、英国人にとって「パブ」とはどのような場所なのでしょう。

歴史を辿ると、正式名称「Public House（公共の家）」の名の通り、パブは「家」から生まれました。英国人が家に人を招き社交場にしていた風習がやがて外に持ち出され、宿泊所や雑貨屋、クリケット場などに機能として併設されていき、現在の「パブ」へと進化していったのです。

親しい友人・知人と集まり、お酒や会話を楽しむという英国人のコミュニケーションのあり方が、パブの原点にはあるのです。



(プール・クライヴさん)

「パブは、私たち英国人の「社交の場」です。英国人は、人と出会い、お酒を酌み交わし、会話を楽しむことが好きな国民なので、仕事の後や、休日に家族で「ちょっとパブに行こうよ!」というふうに出向きます。どんなシーンでも気軽に訪れることができるのがパブの良さですね。」

(道心華衣さん)

「グループで来るのもいいし、もちろん1人で来るのもいい。そのときに、その場にいる人と会話を楽しむ。でも決して交流を強制されるわけではない、という心地よい距離感もパブならではの魅力です。中には開店と同時に来て、閉店近くまでゆっくり飲みながら1人で過ごす人もいます。このように思い思いに過ごせる自由さがあるからこそ、パブは英国人にとってリラックスできる大切な場所となっているのです。パブは、日本には存在しない独特の文化ではないでしょうか。」

近年はパブでの喫煙がNGになったことも受け、英国ではキッズフレンドリー（子ども歓迎）のパブも増えているのだそう。日本の居酒屋でキッズスペースやキッズメニューが提供され始めた流れと似たものが感じられます。

「サイダー」と「英国を感じる味と香り」で本場のブリティッシュパブを体感しよう！

本場のブリティッシュパブならではのメニューにはどんなものがあるのでしょうか。さっそくお2人に紹介していただきました。

まずはドリンク。ブリティッシュパブの代表的なドリンクといえば、ビールとサイダーです。とくにサイダーは日本の一般的な居酒屋には置いていないので、日本人にとっては珍しい飲み物ではないでしょうか。サイダーとは「りんご酒」のこと。フランスでは「シードル」と呼ばれています。

（道心華衣さん）

「サイダーは、英国以外にもフランスやスペイン、ドイツなどさまざまな国でつくられていますが、英国にはサイダー専用のリンゴを栽培し、昔ながらの製法でつくられたものもあります。ブリティッシュパブを訪れたら、ぜひサイダー文化の奥深さにも触れていただきたいです。」



フルモンティでは、70種類ものサイダーを取り扱っている。本場さながらの品揃えに、遠方からわざわざ足を運ぶ方もいるのだそう。英国のサイダーは500mlの瓶に入っているものがメジャーで、それぞれグラスに注いで味わう。

ビールは pint（パイント）という単位で提供され、「pint」か「half-pint」どちらかを選ぶのが主流です。（ちなみに1pintは約568ml）。

次は食べ物です。ブリティッシュパブで欠かせない食べ物といえば、「フィッシュ&チップス」や「ミートパイ」、「ローストディナー」。英国を代表するソウルフードです。



「ミートパイ」

お肉等の煮込みをパイ生地に閉じ込めてオーブンで焼いた料理。フルモンティではパイ生地から全て手作り。



「ラムステーキ&マッシュ with ホームメイドグレービーソース」

グレービーソースは牛骨を5時間オープンでゆっくり火を通しながら煮こんで作るイギリス料理に欠かせないソース。



「フィッシュ&チップス」

白身のお魚に纏わせる小麦粉とビールで作った衣がフワフワサクサクの食感を演出。

「日本にかつおや昆布のだし文化があるように、英国にも母国を感じる香りがあります。夕方に街に広がるグレイビーソースの独特の香りです。当店にも、母国の味を求めて英国人のお客様が多くいらっしゃるんですよ。」と道心さん。

フードとドリンクはカウンターで注文し、キャッシュオンで精算します。グループの場合は、1人ずつ順番に全員のドリンクを注文する Round of Drinks（ラウンド制）という独自のルールが存在も、知っておくとより楽しめるかもしれません。

サイダーと英国を感じる味と香り、そして出会いと楽しい会話がブリティッシュパブの醍醐味です。ぜひ足を運び、本場感を味わってみてはいかがでしょうか。

英国ゆかりの地である横浜で、改めて英国文化を発信したい

最後に、お2人に GO GB 2020 に向けての思いを伺いました。



(プール・クライヴさん)

「横浜は開国をしていち早く英国文化を取り入れた、英国ゆかりの土地です。2020年のオリンピック・パラリンピック期間に、横浜市が英国代表チームをホストタウンとして迎えるにあたり、改めて英国文化を発信していきたいと思っています。

個人的には英国の国技であるフットボールとラグビーが好きなので、当店で集まったお客様とスポーツ観戦を楽しみながら、英国の文化にも触れていただく機会を作ることができれば嬉しいです。」



(道心華衣さん)

「この機会に、英国の食文化の素晴らしさについて改めて知っていただきたいです。あまり認識されていませんが、実はサンドウィッチやローストビーフなどの身近にある料理は英国発祥の食べ物。横浜にも至るところに英国の文化が散りばめられているのに、日常に溶け込んで見えなくなっています。

英国文化を改めてクローズアップするイベントなどを企画し、オリンピック・パラリンピック観戦や観光等で横浜を訪れるたくさんの人に、もっと英国文化の素晴らしさを知ってもらいたいです。」

今回は、英国を語る上で欠かせないブリティッシュパブについて紹介しました。

日本ではなかなかなじみのないパブ文化ですが、一度足を踏み入れると、知らない人同士でも気軽に話せる英国式の温かいコミュニティが待っています。

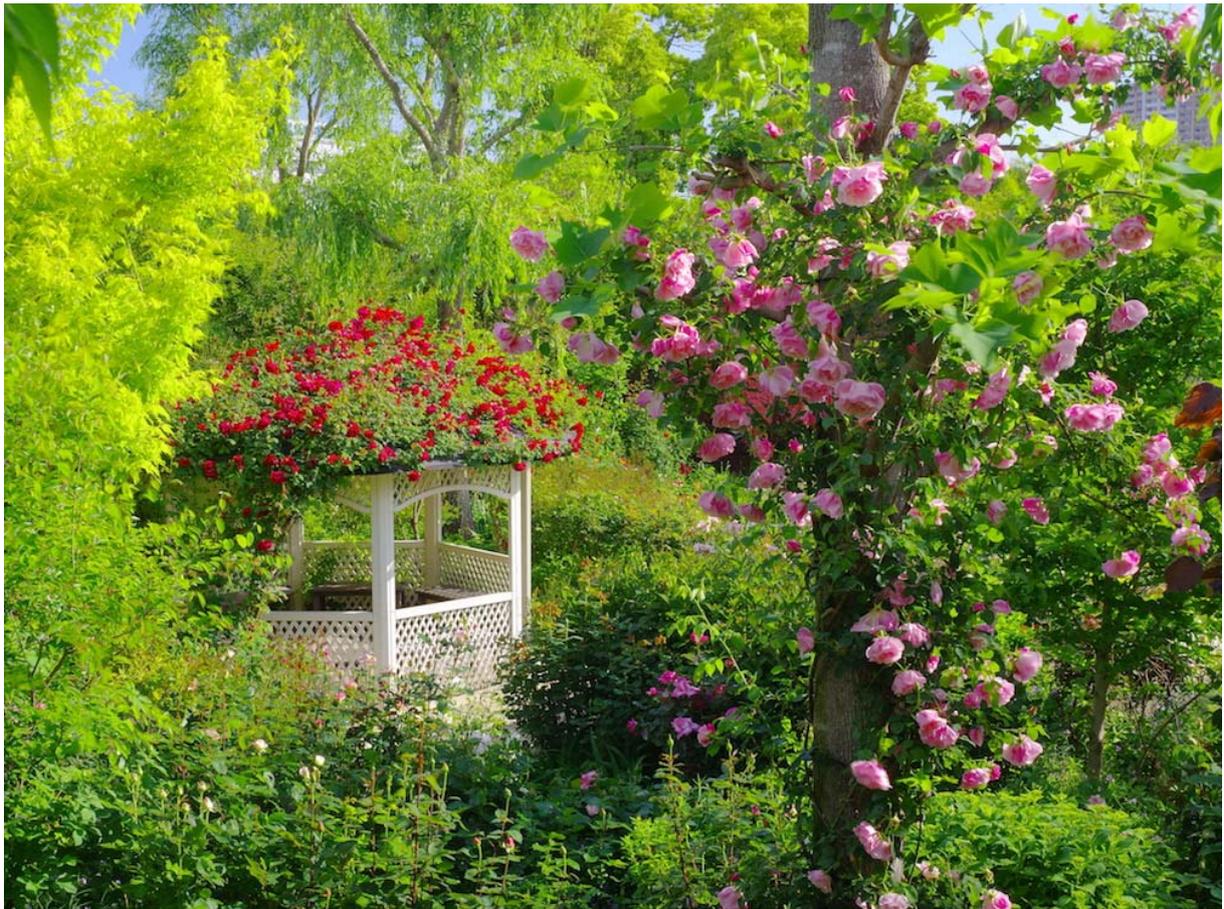
ぜひ、この機会に本場のブリティッシュパブを体感してみたいはかがでしょうか？

取材：GOGB コラム担当ライター：松村茉莉

撮影：GOGB コラム担当カメラマン：山本美賢

2020.12.24 事前キャンプを知ろう | ホストのオススメブリティッシュポイント

草花の“自然美”を体感できる「イングリッシュガーデン」を訪れてみよう！



東京 2020 オリンピック・パラリンピックの英国代表チームの事前キャンプホストタウンになっている横浜市。

横浜市は、幕末の横浜港開港によっていち早く英国文化を取り入れた地でもあります。

今回は、英国文化を体感できるスポットとして、横浜イングリッシュガーデンをご紹介します。案内してくれたのは、横浜イングリッシュガーデンのガーデナー黒田智史さん。2,000 品種、2,200 株以上の圧倒的なバラの風景。そして四季折々さまざまな植物が育ち、訪れるたびに違う表情を見せてくれるイングリッシュガーデンならではの魅力と、それを育んだ英国文化について教えていただきました。

草花の自然美を楽しむのが、イングリッシュガーデンの醍醐味

イングリッシュガーデンとは、18世紀～19世紀に始まったイギリス式庭園の流れを汲んだ「自然美を楽しむお庭」のこと。自然をそのまま切り取ったような、野生的で力強い草花の美しさを感じられるのがイングリッシュガーデンの醍醐味です。イタリア式庭園やフランス式庭園の幾何学な様式とは異なり、左右非対称で奥行き感のあるイングリッシュガーデンの風景は、日本庭園の美しさとはどこか似ている部分があります。



（黒田智史さん）

「イングリッシュガーデンのポイントは、「自然風」に「混栽」です。人工でありながら、さまざまな植物が混ざり合って自然の風景を作り出しているところに良さがあります。しかし、自然だからといって手入れをせず放ったらかしにして良いというわけではありません。それぞれの植物の特性を理解し、植える時期や配置をうまく計画していくスキルが求められます。

ポイントは、その環境に合った植物をチョイスすること。イングリッシュガーデンだからといって英国の植物にこだわる必要はなく、ご自身の好みの植物にチャレンジしていただきたいです。」

英国の園芸文化と日本の関わり

英国の庭文化が大きく変革していったのは18世紀～19世紀ごろ。もともと自生する植物が少なかった英国に、世界中に送られたプラントハンターによって多くの植物が持ち込まれたのがきっかけでした。

当時、英国を含む北ヨーロッパ諸国から、アジア、アフリカ、中南米へとプラントハンターが訪れ、貴重な植物を採集していきました。日本からはアジサイやノギクなどがヨーロッパへと持ち帰られたそうです。

その後英国では、ロンドンの植物愛好家によって「ロンドン園芸協会」が設立され、園芸文化が育まれていきました。





日本原産のアジサイ（ガクアジサイ）は、シーボルトがオランダに持ち帰ったことで育種が進んだといわれている。その時に持ち帰ったガクアジサイは、日本の妻・お滝にちなんで「ハイドランジア・オタクサ」と名付けられた。イングリッシュガーデンでは6月にはアジサイ鑑賞も楽しむことができます。

英国の園芸文化は、1990年代～2000年代にかけて日本で大ブームとなりました。

日本でも有名なバラのナーセリー、デヴィット・オースティンさん。線が細く柔らかい印象のイングリッシュローズがとても人気になりました。

横浜イングリッシュガーデンでも、今では手に入りにくいデヴィット・オースティンのローズコレクションを複数。

2020年秋～2021年春！横浜イングリッシュガーデンの見どころは？

横浜イングリッシュガーデンでは、横浜市の花であるバラを基調に、春には30品種以上のサクラ、初夏には約300品種ものアジサイなど、四季折々さまざまな草花が咲き誇ります。黒田さんに2020年秋～2021年春の見どころを伺いました。

（黒田智史さん）

「横浜イングリッシュガーデンでは多種多様な植物を育てていますが、10月中旬から11月末にかけては秋バラが見頃です。春と秋にそれぞれバラの見ごろがありますが、秋のバラは色も香りも良く、大振りなものを楽しめるのが特徴です。とくに今年のバラは大振りですね。秋は少しずつ気温が低くなっていくので、バラがゆっくり大きく咲いていくんです。深みのあるボルドーカラーは、ゆっくり咲くからこそ出る色です。」



握りこぶしぐらいあるバラの花が見事に並んでいる。バラらしいダマスク香やさわやかなフルーツ香など香り高いバラがたくさん！

「春は5月上旬～中旬がバラの見頃です。横浜イングリッシュガーデンの目玉、全長約50mのローズトンネルは、5月中旬ごろに満開になります。トンネルがバラの花で埋め尽くされ、歩くだけで芳醇な香りが漂います。5月初旬から中旬にかけては、ローズトンネルと周辺のバラの開花が合わさる貴重な時期です。私たちガーデナーは、気温や湿度、日照などの微細な変化を観察し、この時期に一斉にバラが咲くように工夫しています。ここがガーデナーの腕の見せ所ですね。ぜひ、多くの方に美しいバラが咲き誇る風景を楽しんでいただきたいです。」



今回は、英国の庭園文化から始まったイングリッシュガーデンを紹介しました。
自然美を愛するという点で、英国人と日本人は近い感受性があるのかもしれませんが。
横浜イングリッシュガーデンでは11月24日からクリスマスの装飾も始まります。
季節に合わせた装飾と共にガーデンの景色を楽しむのも魅力の一つです。ぜひこの機会に訪れてみてはいかがでしょうか？

横浜イングリッシュガーデン Web サイト

<https://www.y-eg.jp/>

取材：GOGB コラム担当ライター：松村茉莉

写真提供：横浜イングリッシュガーデン